

# 「美(うま)し近畿景観セミナーin奈良」 ～多様な主体の協働による景観づくり～ 開催結果

景観法の制定を契機に、地域の個性や潤いのある生活環境と密接に関わる景観をよりよくしたいという気運や活動が高まりつつあります。

このような、地域の良好な景観づくりをより一層推進するため、「美(うま)し近畿景観セミナーin奈良」を開催しました。セミナーでは「多様な主体の協働による景観づくり」に関する基調講演と、地域の各々が主体となった景観づくりの取組事例の発表を行いました。

- 日時：平成22年11月16日（火） 午後1時30分～午後4時
- 場所：奈良県文化会館 小ホール（奈良市登大路町6-2）
- 主催：奈良県  
共催：近畿ブロック景観研究会  
（福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、徳島県、鳥取県）
- 参加者数：約120名
- 参加者に対しアンケートを実施

## 第1部・基調講演 テーマ：多様な主体の協働による景観づくり

講師：鳴海 邦碩（大阪大学名誉教授、奈良県景観審議会会長）

【概要】諸外国を含む各地における、住民、NPO、企業、行政の協働による景観づくりに関する事例について、写真等を用いながら多数紹介。

【アンケートのコメント】

- ・景観整備の必要性など基本的な考え方がよく理解できた。
- ・具体的な事例と景観づくりのあり方などの考え方を両面から話がされ参考になった。

## 第2部・取組事例の発表

### 県とNPOとの協働事業

**奈良らしい景観を共に創ろう「県民景観がっこう」** 横井 紘一（奈良デザイン協会）

【概要】住民・事業者・行政の協働により、奈良らしい景観を共に考え、共に創ることを目的に、H21年度に開催した県とNPOとの協働事業「県民景観がっこう」の取組を発表。

【アンケートの主なコメント】

- ・住民、NPO、企業などが対等な立場でまちづくりを考える機会の一つとしてこの取組は参考になる。
- ・継続的な活動を望む。

### 地域主体の景観づくり

**自然環境に恵まれた美しい街並みづくり** 山田 勲（生駒市鹿ノ台自治連合会）

【概要】緑豊かな住宅街区と調和した良好な景観の形成を目的とし、花づくり清掃活動などの活動を実施。平成20年に設立した「ECOKA委員会」の取組を中心に自然環境に恵まれた美しい街並み景観を守り育てる活動を発表。

【アンケートの主なコメント】

- ・自治会活動の可能性と定住地への考え方として参考になる。
- ・住宅地としての活動の好事例。

**歴史的な街並みを活かした景観まちづくり** 野村 幸治（住民の力）

【概要】高取町土佐地区において、城下町の街なみ・町家を活かした観光振興・地域交流事業を行い、歴史文化の薫る土佐街なみに賑わいを取り戻すとともに、現在残る城下町の景観を守り、継承していくことを目的に多様な活動を発表。

【アンケートの主なコメント】

- ・昔の街並み保全の取組に熱心な住民の成果が表れている。
- ・町家の保存、修景、活用の好事例。

**歴史的風土と環境を保全するための景観形成活動** 阿部 和生（奈良・人と自然の会）

【概要】「自然環境保全の活動」と「自然環境教育の実践」を通じて、会員の親睦と相互研鑽に努めながら、地域社会に貢献することを目的として平成13年に設立したボランティア団体の活動（ならやま里山林整備事業：ならやまプロジェクトなど）を発表。

【アンケートの主なコメント】

- ・人の力の結集の大切さを知った。
- ・環境への活動も街並み形成の要素だと感じた。



基調講演 講師：鳴海 邦碩



会場の状況

## アンケート集計結果

・アンケート回収率 44%

